

地域の高齢化による労働力不足の解決に向け、就労継続支援B型事業所「障がい者就労トレーニングファームチャレンジド立野」を運営し、佐渡市内の障がい者を受け入れ、農作業や地域のボランティア活動に取り組む他、古民家を改修したカフェ「アートサロン和（やわらぎ）」に障がい者が制作した絵画や工芸品の展示、農産物や加工品の販売も行っている。

## 基本情報

- 所在地：新潟県佐渡市
- 団体名：特定非営利活動法人 立野福祉会
- 取組パターン：福祉完結型
- 選定表彰：
  - 平成30年 感謝状（立野集落）
  - 〃 ディスカバー農山漁村の宝 選定（北陸農政局）
  - 令和3年 ノウフクアワード審査員特別賞
- 主力商品・イベント：
  - 米（自然栽培）、採種かんらん（キャベツ）、米粉菓子（ビスコッティ）、あんぼ柿、佐渡番茶（焙じ茶）、花卉（アスター、寒菊）、黒豆（自然栽培）、とうもろこし

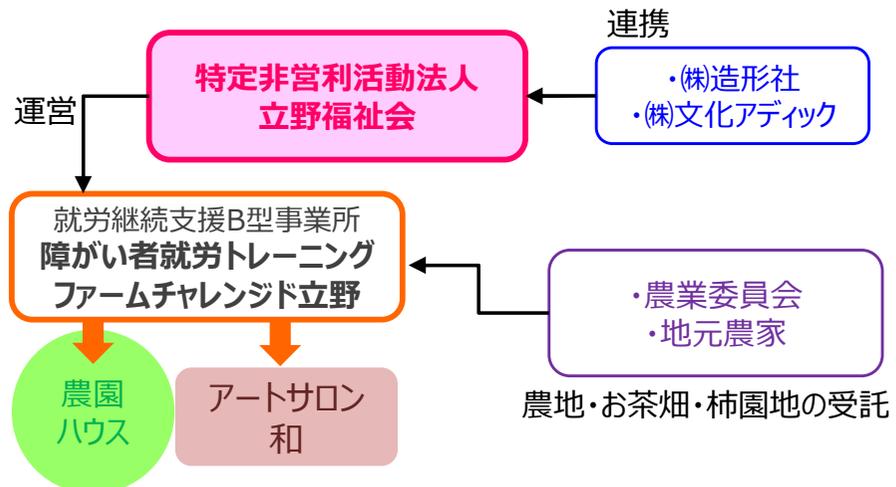
## 取組の概要

- 障がいの程度により、作業を切り出し、各人の適正に応じた工程を任せることで、効率化と障がい者のやりがいを創出している。
- 季節や天候に留意した作業内容や休憩時間等を取り入れることで、障がい者が働きやすい環境をつくり、就労人数の増加を図っている。
- かんらんやアサガオの採種、日本スイセンの球根栽培を取り入れ、工賃アップを図っている。



項目	単位	取組当初	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
障害者数	人	5	22	23	27	27	30
荒廃農地解消	a	8	14	24	27	27	27
工賃総額	千円	1,637	3,885	5,164	5,810	6,047	6,168

## 体制図



## 取組の成果

- 障がい者の活躍により、耕作放棄地の解消と地域農業の維持が図られている。
- 受託作業に取り組む障がい者は、月5～6万円の収入が得られている。
- 6ヶ月以上の一般就労に繋がった方は、現在9名となっている。
- アートサロン和の開設により、地域との交流、さらに地域外からの来訪者も増加し、地域活性化に繋がっている。

所在地 ▶ 新潟県佐渡市立野252番地  
 連絡先 ▶ TEL:0259-67-7774 FAX : -  
 E-mail:challengedtateno@sky.plala.or.jp  
 ウェブサイト ▶ <https://tateno-fukusikai.amebaownd.com/>

# 【取組のプロセス】

2013年  
4月～

## きっかけ

働きたくても働く場がない障がい者と、担い手不足の農業をマッチングするため、小規模作業所を開設し、利用者5名、職員1名で農業を開始した。

2013年  
7月～

## NPO法人格を取得し、利用者を増員

- 「地域住民と一体で、農業を通して障がい者の自立と自律を支援し、地域活性化をすること」を目的に、企業の協力のもと、加工部門は作業所で、販売は協力企業が行う形で事業スタート。
- 2014年4月、「地域活動支援センター」に改変し、利用者を7名とした。

2015年  
4月～

## 就労継続支援B型事業所「障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野」に改変。定員を10名に増員。

- 「チャレンジド＝挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人」という前向きな言葉を施設名として、農福連携を推進。
- 日本農福連携協会、自然栽培パーティ、JA佐渡自然栽培研究会に加入し、自然栽培取り組む。生産物を活用した加工品で製菓販売を行う。

2017年～

## 障がい者就労トレーニングファームチャレンジド立野の定員をさらに増加。

- 2017年6月、定員15名→2018年、定員20名に改変。
- 2018年、農山漁村振興交付金を活用し、地域の方や障がい者の拠り所であり、情報発信の場となる、アートサロン和と加工場を開設。

2022年～

## 障がい者就労トレーニングファームチャレンジド立野の登録者の増加。

- 2022年、毎日利用する方よりも月に1回、週に2回といった少ない日数の利用者数が増加。

今後の  
展望

## 「挑戦する」気持ちを大事にし、「お互いさま」の精神で地域とともに成長したい

- 更なる6次産業化を目指し、新商品の開発に挑戦する。
- アートサロン和を通じ、農福連携の情報発信を行う。



島内企業の減少や縮小。集落の高齢化と農業の担い手不足。

法人の社員10名はすべて集落の方が担い、集落からの協力体制が整う。

農地受託で農業委員会に登録。認定農業者取得。

農家が一番必要とする短時間労働の受託や集落の困り事（古紙回収、除雪など）解消で集落の一員として存在感が増す。

集落の高齢化により春の用水路の掃除への参加人数は2018年よりチャレンジド立野の方が多くなる。

耕作放棄地解消にと水田受託が増えた事で集落での存在感が増し、将来の地域計画に於いて無くてはならない一員となっている。